

平成 31 年度日本青年国際交流機構（IYEO）

I. 活動方針

「社会でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指して」

現代のグローバル社会においては、幅広い視野を持って柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされている。平成 27 年の日本青年国際交流機構設立 30 周年を機に、次の 10 年を見据え、内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと事後活動組織として半世紀を超え築き上げた実績とネットワークをいかし、社会で活躍できる人材育成に取り組む。

また、全国の会員が有機的につながり、互いの活動をより良くしていく活動を推進し、さらなる組織の活性化に取り組む。

活動の三大方針

1. 青年層活性化の基盤づくり

社会活動における青年のニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、これまで培ったノウハウを次世代へ継承するとともに、他団体との連携等による地域活動の促進、青年による社会の活性化を目指す。

2. 地域社会に貢献できる人材育成

地域における国際交流活動を含む社会活動に積極的に取り組み、世界との距離を狭めるとともに、地域のニーズに合った貢献ができる人材の育成に努める。

3. 国際ネットワークをいかした国際協力活動

国内外における様々な課題に対応するため、国際協力活動を推進し、社会に貢献していく。

II. 主な活動分野

第 1 分野：青少年分野についての活動の啓発

第 2 分野：地域の活性化に資する活動

第 3 分野：地域における国際交流活動を基本にした人材育成

第 4 分野：内閣府青年国際交流事業の受入れへの協力及び自主事業による外国青年受入れ／派遣

第 5 分野：都道府県 IYEO 及び会員のネットワーク強化と活性化

第 6 分野：国際協力活動

第 7 分野：内閣府青年国際交流事業の外国参加青年とのネットワーク

第 8 分野：広報活動への積極的取組

第 9 分野：財政基盤及び組織体制の確立

III. 活動計画

1. 青少年分野についての意識の啓発及び具体的な活動の推進

- 「自主活動サポート助成金制度（チャレンジ・ファンド）」を活用した独自活動
- 青年のリーダーシップの向上や社会への参画意識を高めることができる内容及び異文化理解を促進する内容の自主事業の企画・運営
- 子ども・若者育成支援推進法の普及・啓発への協力
- 各種青少年国際交流事業へのリーダー推薦及び公的委員会等への人材推薦
- 他分野、他団体との連携活動の推進（共催、後援、協力）
- 社会活動（ボランティア活動）の啓発・促進

2. 大規模災害の被害からの復興活動への取組

- 大規模災害の被害への復興支援を継続的に行うべく、被災地のニーズを把握し、都道府県 IYEO との連携を強化して進めていく。
- 継続支援を行う地域のニーズの明確な把握、効果的な支援への取組
- 国際交流の視点を取り入れた活動を、被災地において積極的に展開
- ホームページ等で世界や全国からのメッセージや活動内容の発信

3. 国内ネットワークの強化

- 各事業直後の全体での事業報告会の開催（年 3 回）
 - 「世界青年の船」事業報告会
 - 航空機による青年海外派遣報告会
 - 「東南アジア青年の船」事業報告会
- 事業毎の国内ネットワークの自主的強化
 - Air-Net Day の開催
 - 「日本・中国青年親善交流」事業関係者による中国同窓会の開催
 - 各事業関係各国大使館への訪問
 - 「地域コアリーダープログラム」既参加者の情報交換会の開催
- 会員情報の把握強化
 - 「IYEO 会員データプロジェクト」の継続
- 団体会員を中心とした関係団体との交流事業の実施

4. 海外とのネットワークの強化

- SSEAYP インターナショナル総会の開催
- SWYAA 国際大会の開催
- 中華全国青年連合会を基本にした「日本・中国青年親善交流」事業の中国既参加青年と連携

「平成 31 年度活動方針・計画について」

- 「日本・韓国青年親善交流」事業の韓国既参加青年との連携
 - 「日韓交流連絡会議」の開催
- 「国際青年育成交流」事業のネットワーク形成に向けた調整
- 国内における Air-Net Day の開催などを軸におきながら継続的派遣国を中心に発展
- 「コアリーダープログラム」のネットワーク形成に向けた調整

5. 全国大会の開催

6. 全国推進会議の開催

7. ブロック大会（青少年国際交流を考える集い）

- 8 ブロックにおいてブロック大会を開催する。
- ブロックごとに活動方針に沿ったテーマを設定し、ブロック大会開催の際に掲げて、会員の活動についての共通認識の形成と意識高揚に資する。

8. 都道府県 IYEO オンライン役員研修の開催

- 都道府県 IYEO で事務局を担当する役員メンバーから代表者を集めて、実務研修を行う。
- 都道府県 IYEO の活動基盤の充実を図ることにより、全国組織としての組織基盤の確立を目指して人材育成の一環として行うものである。
- 都道府県から次世代会長・事務局長候補者を集めて実務研修を行う。日程：調整中

9. 国際並びに国内支援活動

- インドシナ津波被災国であるスリランカへの支援（スリランカ教育支援プロジェクト）を始めとする SWYAA における国際支援活動の継続
- タイの「For Hopeful Children Project」への支援活動を始めとする「東南アジア青年の船」事業事後活動連携組織（SSEAYP インターナショナル）における国際支援活動の継続
- 事後活動組織の国々においての災害に対して、各国事後活動組織との連携による支援
- 各都道府県においての災害に対して、都道府県 IYEO との連携による支援

10. 内閣府青年国際交流事業募集広報への協力並びに団体としての広報活動強化

- IYEO の社会活動団体としての活動実績を明確にアピールし、非営利団体としての社会的役割を広く知らしめるための広報活動に力を入れるとともに、内閣府青年国際交流事業の充実を図るために、参加者募集広報活動の協力に重点をおいて取り組む。
- 事業広報

「平成 31 年度活動方針・計画について」

- 年間を通しての広報活動の工夫
- 事業報告会及び事業説明会の開催
- 大学での事業説明会への協力
- 募集パンフレットの配布先の開拓
- マスコミへの紹介
- 企業への事業説明
- その他、効果的な広報活動を検討し推進
- 団体広報
 - 広報誌等の活用
 - IYEO ライブラリーの更新
 - ソーシャルメディアの活用
 - その他、効果的なツールの活用

1 1. 事後活動「Bulletin Board」・広報誌「HUMANO」の発行

- 年 3 回（全体発送、事後活動ニュースの発送時に同封）発行
- 都道府県 IYEO の連絡文書発行に協力（A4 両面スペースに都道府県またはブロックごとに印刷して全体送付の際に同封）
- 年間を通しての内閣府と連携した広報活動の工夫
- 大学での事業説明会への協力
- 内閣府と連携した企業への働きかけ
- インターネットやソーシャルメディアを使った広報の充実

1 2. 財政基盤及び組織体制の確立

- 会員に対しての呼びかけを含め、継続的な寄付金収入の確保に努める
- 財政強化検討チームによる、具体的な財政基盤の強化への積極的取組
 - 頒布品の充実
 - 広告料の増収